

施策評価調書(29年度実績)

施策コード - 2 - (7)

政策体系	施策名	クリエイティブ産業への挑戦	所管部局名	商工労働部	長期総合計画頁	107
	政策名	多様な仕事を創出する産業の振興と人材の確保	関係部局名	商工労働部		

【 . 主な取り組み】

取組			
取組項目	創造的人材とのネットワーク構築	県内企業と創造的人材との交流の場の創出	付加価値の高い新事業の創出

【 . 目標指標】

指 標	関連する取組	基準値		29年度			31年度	36年度	目標達成度(%)											
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125							
クリエイティブ産業育成の政策に基づく、創造的人材と企業との連携による商品・サービスの事業化件数(件)		H26	-	18	23	127.8%	30	100												

【 . 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
達成	県内の地場企業等と創造性あふれるデザイナーやプロデューサー、高い技術を持つICT・IoT技術者等が会い、従来の枠組みにとられない新たな視点で商品やサービスの開発等を行った結果、目標値を達成した。	達成

【 . 指標以外の観点からの評価】

取組	指標以外の観点からの評価
	<ul style="list-style-type: none"> ・公式ウェブサイト「CREATIVE PLATFORM OITA」にクリエイティブ人材(創造的人材)のデータベースを構築するとともに、当該ウェブサイトやSNS、メールマガジン等を活用して、全国の著名なクリエイティブ人材へのインタビュー記事や優良事例等を紹介し、県内企業と当該人材とのネットワークを拡大した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・公式ウェブサイトで紹介したクリエイティブ人材をゲストに招いた交流イベントを定期的開催し、県内企業と当該人材が交流できる場を創出した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・県内企業等からのクリエイティブ活用に関する個別相談を受ける「クリエイティブ相談室」を設置し、県内企業が付加価値の高い新事業(商品・サービス等)を創出するための土壌を醸成した。 ・県内クリエイターや学生等を対象に、県内企業が実際に抱える課題の解決方法等や、新商品・サービスの企画提案等を学ぶ実践型のセミナーを開催し、企業の商品・サービス等をトータルでプロデュース、ブランディングできるクリエイティブ人材を育成した。

【 . 施策を構成する主要事業】

取組	事業名(29年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	30年度の方向性	
	クリエイティブ産業創出事業	57,127	A	継続・見直し	166
	経営革新企業成長促進事業	70,668	A	継続・見直し	140
	おおいたIoTプロジェクト推進事業	106,822	A	継続・見直し	153

【 . 施策に対する意見・提言】

<p>交流イベント CREATIVE PLATFORM CAFE Vol.5(H29.7)</p> <p>・企業がクリエイティブ人材とコラボレーションする最適なタイミングは、「漠然とした段階から相談すること」。そのためには、企業が気軽に相談できる相談先が必要不可欠。</p>	<p>おおいたクリエイティブ実践カレッジ(H29.10)</p> <p>・クリエイティブな視点や発想で、地域や製品は大きく変わる。地元クリエイターのスキルアップは地域にとって重要なこと。</p>
---	---

【 . 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイトやSNS、メールマガジン等を充実させ、クリエイティブ活用の有用性について県内企業への更なる情報提供を行う。また、交流イベントをより効果的に実施することで、県内企業とクリエイティブ人材とのネットワーク構築を加速させる。 ・県内企業からのクリエイティブ活用に関する個別の相談に応じるとともに、企業にマッチする人材を紹介することで、県内外に広く認知される商品・サービス等の創出を図る。 ・商品・サービス等の付加価値を高めることができるクリエイティブ人材の育成を加速するため、研修・セミナー等の充実を図る。